

事業提案書

団体名	環東鳥海山活性化プロジェクト			事業区分	ソフト	
事業名	地場産業を活用した地域活性化事業			継続事業	3年目	
実施期間	令和8年5月23日から 令和9年3月31日まで					
補助対象経費	500,000円		補助金申請額	400,000円		
事業目的	課題	(事業を計画するに至った課題とその原因はなにか) 地域の高齢化や人口減少が進み、三関地区や須川地区、高松地区が単独で地域を活性化していくのは今後難しくなると思われる為、地域間の連携が必要				
	目的	(課題の原因を解決する目的はなにか) 地域間交流を促進するため、お互いの地場産業を活用した事業を行う 各イベントを通して、須川・高松・三関地区の交流を活性化する 防災フェスタを開催し、地域の防災力を高める				
事業内容	対象	(事業の対象となるのは誰か) 地域住民等				
	内容(流れ)	(いつ、どこで、どの様な内容の事業を、どの様な方法で行うのか) 地域の農産物を使用した「地産地消ピザ」を開発し、各イベントへ出店しPR活動をする 自主イベントの開催 「環東鳥海山防災フェスタ」「三関防災フェスタ」 地域・学校防災のアドバイザーを招聘しての講話のほか、防災食の試食、防災グッズ作り、地震体験や避難所体験などを実施し、子どもからお年寄りまで地域防災について楽しく学べる機会を提供する。 ※イベントを開催するにあたり、各地域と協力体制を整えるため会議を密に行う。 各地区・学校等のお祭りでの交流イベントの実施				
	目標と計画	1年目	目標	地域づくりに関わる人数を増やす	目標の根拠	地域間交流促進のため
		2年目	目標	登山イベント参加者を募る	目標の根拠	他地域へのPR活動
			計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 東鳥海山登山イベントの開催（または共催・後援） 登山愛好家を誘致し、湯沢のPRイベントを開催 地域住民が防災を意識できるように防災キャンプ等の開催 小学校の花見イベントを計画し実施。周知を図る。		
3年目		目標	近隣地区との連携を図る (高松や小野など)	目標の根拠	地域間連携の拡大	
	計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 積極的にイベントへ参加し、PR活動 地域の各団体と協力しながら「防災フェスタ」を開催 ネットショップ等を活用した新たな販路の開拓 他地域と連携するために、交流事業をおこなう				
～5年目	目標	地域間交流のさらなる促進	目標の根拠	目的達成のため		
	計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 3年間の経験を他地域の活性化にも活用したい 地域づくり協議会との連携を深め、各イベントを成功させる				
規制	(事業を行う上での規制はあるか、どのように対処していくのか) 人を誘致する場合、旅行業法に抵触する可能性 → 旅行者への委託も検討 食品衛生法上の問題 → 有資格者の育成や場所の確保					

(裏面)

	期 間	内 容	担当者		
事業スケジュール	5月 中旬	～	5月 下旬	環東鳥海山防災フェスタ	
	6月 中旬	～	7月 下旬	移動ピザ窯・地産地消ピザの作成・開発	
	8月 月上旬	～	8月 下旬	須川・三関の夏祭りへの出店	
	9月 月上旬	～	9月 下旬	三関地域づくり協議会・三関自主防・三関消防団と協働で「三関防災フェスタ」を計画する	
	11月 月上旬	～	11月 下旬	「三関防災フェスタ」の開催	
	月 月上旬	～	月 下旬		
	月 月上旬	～	月 下旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
住民参加	(事業に対し、どのように住民が参加できるか) ピザのアイデアの募集 イベントでのピザ焼き体験 各農家から農産物調達 常設ピザ窯の開放(誰でも自由に使えるように) 防災イベントに参加し防災の知識を得る(須川地区) 防災が起こった時を想定し、地域住民がどのように動くか体験型の防災フェスタの開催(三関地区)				
事業のアピール点	(地域の特性を活かした事業か、アイデアや着眼点のどこが優れているか) セリ・ひろっこ・さくらんぼ・石材業と特徴的な地場産業が発達している地域 それぞれ単独での知名度はあるが、まとめて「売り込む」ことはあまりしてこなかった 若い就農者が多いのも特徴 地域住民を対象とした防災イベントの開催を地域の各団体と共同開催する(各地区の団体と連携を密に行うことで地域間の結束力を強める) 若い力、行動力、自由な発想を活かした事業展開が可能				

※記載欄の過不足は適宜調整してください。